

集会案内

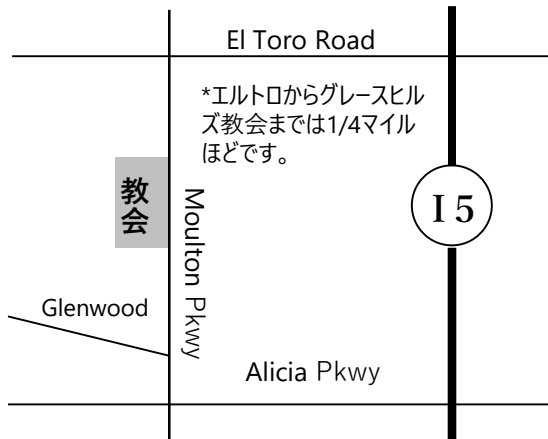
毎週日： 祈 禱 会 1 : 1 5 p m - 1 : 4 5 p m
礼 拝 2 : 0 0 p m - 3 : 2 0 p m
茶 菓 3 : 3 0 p m - 3 : 5 0 p m
聖書研究 4 : 0 0 p m - 4 : 5 0 p m

毎月1回：家庭集会 ラグナ・ウッズ、又はアーバイン
10 : 30 a m ~ 昼食

教会住所： c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637

- ◎ 私達の礼拝は第1バプテスト教会グレース・ヒルズ教会堂内のチャペルで行なっています。
- ◎ 子供たちのためのサンデー・スクールもあります。また、遊具等の設備も豊かに整っております。
- ◎ 12年前に始まった日本語教会です。どなた様もお気軽にお出かけ下さい。

教会の地図



ホームページ: www.irvinihongokyoikai.org

 Irvine Nihongo Kyokai

連絡先:

杉村 宰 牧師 電話：(714) 527-1456
Eメール: sugimura1950@gmail.com
田畑 彰 牧師 電話：(949) 701-6502
Eメール: mt.moriya77@gmail.com

Rev. Tsukasa Sugimura

◎石叫 ■ 「交響曲第九番」

一九一八年六月一日に、アジアで初めてベートーヴェンの交響曲第九番（通称「第九」）の全曲が、現在の徳島県鳴門市に設けられた板東俘虜収容所にいたドイツ兵捕虜によって演奏された。今年で丁度百年目を迎える。

第一次世界大戦当時、中国青島（チンタオ）での戦いで日本に敗れたドイツ兵約千人が、一九一七年に板東俘虜収容所に収容された。そこでは会津出身の松江豊寿（とよひさ）所長が、捕虜に対して人道的に扱い、権利を尊重し、自主的な活動を奨励した。松江が彼らを人格的として扱った理由は、彼の父がその昔、会津戦争で捕虜になり痛目目に遭ったからだという。捕虜たちはスポーツ活動や商業活動、文化活動などに精力的に取り組み、地元の住民との交流も盛んに行われた。音楽活動に関しては捕虜が解放される一九二〇年までの約三年間に、百回以上もコンサートが開かれた。

その後、収容所は海外引揚者の仮の住まいとなり、ドイツ兵との交流も忘れられた。そのような折に高橋敏治さんが、草に埋もれていたドイツ兵の慰霊碑を発見して清掃活動を始め、それが十三年続いた一九六〇年、ドイツ本国にその善行が伝わった。今は息子さんの敏夫さんが墓守をしている（『BS1スペシャル』NHK二〇一八年八月九日放映より）。

松江所長も素晴らしい人格者であるが、ドイツ人の作った慰霊碑を七十数年の間、清掃管理してきた高橋さん家族にも頭が下がる。ロシアで抑留生活を強いられた高橋さんが、坂東で亡くなったドイツ兵のことを思った時、彼らも祖国に帰りたいかたに違いないと思ったのが清掃を始めた理由だったという。

今年の百周年記念式典では、日本各地から六百人もものコーラス隊が結成され、ドイツからの参加者も加わった。日本人の愛に応えようという人々であり、それはそれは歌う者も聞く者も感涙にむせぶひと時であった。

「あなたがたも互に愛し合いなさい」（ヨハネ一三・34）とは、主イエスの唯一の遺言である。人は互いに愛し合うことが主によって求められている。人はそのために生きるからである。そのような愛だけが国境を越え、時空を超えて、鳴門のうず潮のように人々を感動のうず巻き込んでゆく。

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と信徒達の協力ですべての毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ28：18-20）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。